グラン・ブルー／グレート・ブルー完全版（1988）

LE GRAND BLEU: VERSION LONGUE

メディア	映画
ジャンル	ドラマ　アドベンチャー　ロマンス
製作国	フランス／イタリア
時間	169分
初公開日	1992/08
公開情報	ヘラルド
映倫	R15+
リバイバル	2010/08/07［角川映画］デジタル・レストア・バージョン 2010/08/07［角川映画］

【解説】

俄ファンには信じられないだろうが、我が国で８８年の夏に公開された“ＬＥ　ＧＲＡＮＤ　ＢＬＵＥ”のインターナショナル英語版「グレート・ブルー」は驚くほどの記録的不入りだった。しかし奇跡的にそれを劇場で体験できた人間は、熱狂的支持者となり、あの海の青に想いを馳せながらＥ・セラのサントラを聞き込む日々が続いた。そして３時間近いロング・バージョンがあり、本国フランスではロングランを続けているとの情報にも、ほとんど絶望的な思いしか抱かなかった。そのバージョンをスクリーンで観る事は絶対出来ないだろうと。だが、やがてそれは配給会社の努力と、マスコミのバックアップによって着実に進行し、遂に９２年の夏に（ミニシアター系ながら）劇場公開が実現した……。となると今度は大ヒット。確かに宣伝の効果は大きかった。しかし、はやりのお洒落な映画ぐらいにしか思っていない有象無象が列を成し、劇場は満員、立ち見になるわ並ばなきゃ入れないわでその熱狂ぶりは凄かったのだ。教えてもらわなければ良いものが判らない連中が多すぎる。５０分近く尺の伸びたこの版については今さら触れる事はない。解り易くなっているとか、無駄なシーン（明らかに日本の潜水チームの描写は必要ではない）が増えているとか、細部に関してはいくらでも言及できるが、バージョンの差異を説く事にあまり意味はないと思うゆえの事だ。どっちが好きとか嫌いとかではなく、両方まとめて愛すればいいだけの事なのだ。だからこそ、ひとつだけ暴論を吐かせてもらおう。「グレート・ブルー」を劇場で観ていない人間に“ＬＥ　ＧＲＡＮＤ　ＢＬＵＥ”を語って欲しくはない、と。2010年8月、「デジタル・レストア・バージョン」にてリバイバル上映。

【クレジット】

監督	リュック・ベッソン	Luc Besson	
製作	パトリス・ルドゥー	Patrice Ledoux	
原案	リュック・ベッソン	Luc Besson	
脚本	リュック・ベッソン	Luc Besson	
	ロバート・ガーランド	Robert Garland	
撮影	カルロ・ヴァリーニ	Carlo Varini	
音楽	エリック・セラ	Eric Serra	
製作顧問	ジャック・マイヨール	Jacques Mayol	
出演	ロザンナ・アークエット	Rosanna Arquette	ジョアンナ・ベイカー
	ジャン＝マルク・バール	Jean-Marc Barr	ジャック・マイヨール
	ジャン・レノ	Jean Reno	エンゾ・モリナーリ
	ポール・シェナー	Paul Shenar	
	グリフィン・ダン	Griffin Dunne	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

セルジオ・カステリット	Sergio Castellitto
マルク・デュレ	Marc Duret
ジャン・ブイーズ	Jean Bouise

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.